

わが国における臍帯血バンク事業と臍帯血移植の現況

1. 臍帯血バンク事業

わが国における臍帯血バンクは1995～96年に数カ所に誕生し、公的な臍帯血バンク事業は1999年の日本さい帯血バンクネットワークの設立と同時に開始された。1999年の発足当初は8つの臍帯血バンクが加盟し、以後順次3つの臍帯血バンクが加わり、現在は11の臍帯血バンクによって構成されている。

各バンク毎の公開臍帯血数（2008年2月末時点）と臍帯血提供数、移植数の年次推移は以下に示すとおりである。提供数と移植数の一部に解離があるのは、提供された臍帯血が直ちに移植されずに年末から年始にまたがった場合や、患者状態の悪化や骨髄バンクからの非血縁者間骨髄移植への変更などによって急遽中止になった場合などがあるためである。

表1. 臍帯血バンク毎の臍帯血公開数と提供数・移植数の年次別推移

バンク名	臍帯血 公開数*	提供数（上段）／移植数（下段）											合計
		1997	98	99	2000	01	02	03	04	05	06	07	
北海道	2,757		3	17	34	39	63	97	117	86	58	80	794
			3	17	33	37	62	95	115	84	52	79	677
宮城	825						1	3	11	12	19	13	59
							1	3	11	12	19	12	58
東京	5,211		3	22	38	38	42	99	100	110	131	149	732
			3	20	39	38	41	97	98	104	118	141	699
日赤東京	2,797			9	12	9	21	109	121	102	107	118	610
				9	11	8	21	101	121	102	105	115	593
神奈川	1,640	7	16	21	10	6	6	18	28	28	37	16	194
		7	16	21	9	7	6	14	25	30	37	16	188
東海大学	4,340	1	9	6	10	32	46	121	159	102	141	79	706
		1	8	6	11	31	42	117	150	92	133	78	669
東海	2,756	4	12	18	35	31	31	54	46	37	46	60	325
		4	12	18	35	31	30	52	45	37	45	55	325
京阪	1,263							3	13	51	59	129	255
								2	14	49	53	124	242
兵庫	2,895	1	19	10	15	39	48	86	74	87	86	105	570
		1	19	10	14	35	49	79	74	86	85	103	555
中国四国	2,396				4	6	8	27	33	36	28	28	170
					4	6	8	25	34	32	28	27	164
福岡	2,218		1	4	7	7	8	11	24	27	35	48	172
			1	4	5	7	8	10	24	27	34	44	164
合計	29,098	13	63	107	165	207	274	628	726	680	747	825	4,436
		13	62	105	161	200	268	595	711	655	709	794	4,273

*2008年2月29日時点における公開数

2. 臍帯血移植実施状況

年次毎の非血縁者間臍帯血移植総数と、小児、若年成人、高齢成人別の移植数の推移を図1に示す。当初の臍帯血移植は小児患者を中心に行われていたが、2000年頃から成人患者でも実施数が増加するようになり、2003年頃からは50歳以上の高齢者における臍帯血移植が急速に増加している。さらに年齢階層別により詳細にみると、2002年以降の急速な増加は50歳台のいわゆる団塊の世代における移植の増加によるものであることが分かる。また、小児期の年齢の中では、10歳未満の年齢層において着実に増加している。

2007年における変化としては40代、60代において移植数の増加が認められ、移植患者の最高齢は82歳であった。

図1. 非血縁者間臍帯血移植総数と小児・成人別移植数の年次別推移

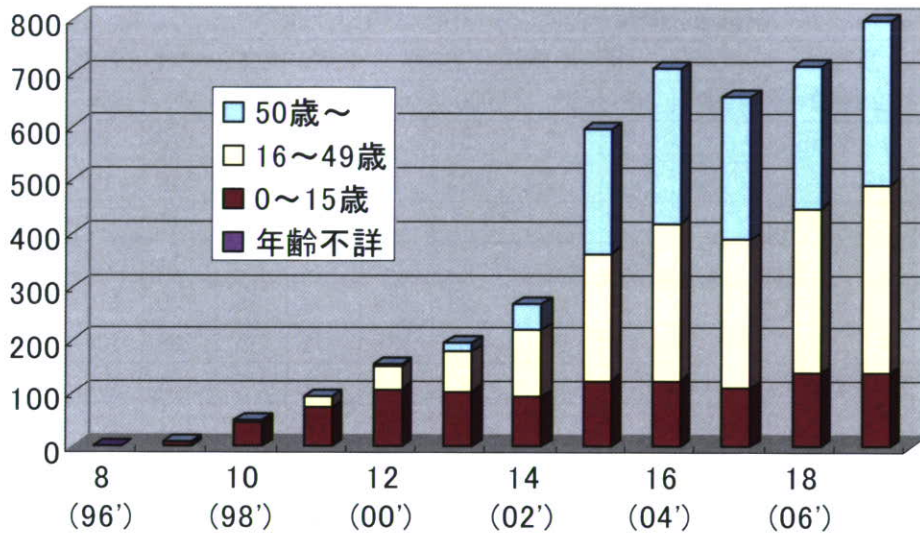


図2. 年齢階層別 (10歳台毎) にみた非血縁者間臍帯血移植年次別推移

